

手賀沼におけるウミウ *Phalacrocorax capillatus* の初記録

小田谷嘉弥

キーワード:ウミウ, *Phalacrocorax capillatus*, 手賀沼, 初記録

観察日:2013年4月17日, 18日, 24日, 26日, 5月4日(終認)

観察者:小田谷嘉弥・斉藤安行ほか

観察した個体数:1個体

観察場所:千葉県我孫子市高野山手賀沼

発見状況:

4月17日9:15ころ, 我孫子市高野山新田の親水広場付近で水面の水鳥調査中に本個体を発見した(図1-3). 本個体は沼に設置された噴水(発見当時は休止中)の上でカワウの成鳥2羽とともに休息していた.

観察した特徴と同定の根拠:

本個体は全身が褐色で大型の水鳥で, 先端部が鉤状に曲っている嘴の形状からカツオドリ目ウ科の鳥類である. 嘴基部と顔の裸出部が黄色であることから, ウミウ *Phalacrocorax capillatus* またはカワウ *P. carbo* のどちらかと考えられるため, この2種について検討する. カワウについては, 日本で記録のある亜種カワウ *P. c. hanedae* についてのみ検討した.

まず, 本個体は顔から後頸にかけて褐色で, 胸から腹にかけては広い白色部があった(図1). このことから, 本個体は成鳥ではない(箕輪2007). 初列風切の換羽状況は, 4月24日にはP 1-2が新羽, P 3が脱落, P 4-10が一様な旧羽で, 旧羽の外側の初列風切は摩耗して先端が尖っていた(図2). 尾羽は一様に褐色味が強く, すべて旧羽であった(図1). 次列風切はすべて旧羽であると思われた. また, 上尾筒, 肩羽, 雨覆, 三列風切は部分的に光沢のある新羽に換羽済みであり, 褪色した旧羽とのコントラストが明瞭であった. ウ科の鳥類は, 幼羽から第一回冬羽への換羽は部分換羽で, 風切および尾羽は

少なくとも生まれた翌年の完全換羽までは残る(Baker 1993, Howell 2010). このため, 残っている旧羽は幼羽であると推定され, 本個体は前年生まれの第一回夏羽と考えられる.

本個体の口角は鋭角に尖っており(図1), 丸みを帯びた形状のカワウとは異なっていた(箕輪2007, 高野2007). 喉から頭部にかけては広い汚白色部があり, 目とくちばしを結んだ線より上にせり上がっていた(図1). 頭部の白色部が広いのはウミウの1年目の鳥によく見られ, カワウにはあまりみられない特徴である(del Hoyo et al. 1992). 三列風切や雨覆の新羽に換羽している部分は, 緑色みを帯びた光沢のある黒色(図1)で, 褐色の光沢に見えることの多いカワウ(箕輪2007)とは異なっていた. また, 本個体の大きさは周囲にいたカワウ2個体より明らかに大きく(図3), 特に首が太く頭部が長大に見えた点はウミウであることを示唆している(箕輪2007). 以上の特徴より, 本個体の特徴にはカワウであることを示唆するものはなく, ウミウとしては矛盾がないので, 本個体はウミウであると考えられる.

観察した行動:

本個体は, 4月17日, 18日, 26日には親水広場前の噴水で休息しているのが観察されたが, 5月4日には市民農園前の人工島で観察された. 左翼の根本には釣り糸のようなものが絡んでおり, 羽づくろいの際に絡まった部分を嘴でつついている様子が確認された. また, この釣り糸によって個体識別は容易であった. 26日には短距離ながら飛翔した(染谷実紀 私信)が, 観察期間を通じて採食行動は観察できなかった. なお, 5月14日に手賀沼水面全域を対象とした調査を行ったが, 本個体は観察されず, 別のウミウも観察されなかった.

## 考察：

通常，ウミウは海岸部や川の河口付近に生息する（中村・中村 1995）。手賀沼においては，これまで記録がないため（我孫子野鳥を守る会 1994, 2004, 2012, 我孫子市 1995），本観察記録が初記録となると考えられる。手賀沼から直線距離で 20km ほど離れた内陸の沼である印旛沼では少数が越冬する（千葉県 2011）ほか，霞ヶ浦でも定期的に観察されている（小田谷，個人的観察）。本種はカワウに形態が酷似しているため，実際には内陸の湿地にも渡来しているが，見逃されている可能性がある。本種およびカワウの若い個体は羽色の変異が大きいため，本稿で議論したように複数の形態形質に基づいて識別することが重要であると考えられる。

本個体は越冬期の手賀沼全体の調査では確認されておらず，ウミウの春の移動時期である 4-5 月に初めて確認された。本種の若い個体はしばしば関東地方で越冬する（小田谷，個人的観察 たとえば 2011 年 7 月 神奈川県）が，本個体は越冬期には見られず，5 月上旬に終認されたことから，繁殖地ないしは越冬する場所への移動中に立ち寄ったものと推測される。

## 謝辞：

今村知子氏，染谷実紀氏には本個体の観察情報をいただいた。新條正志氏，箕輪義隆氏には手賀沼での過去の記録についてご教示いただいた。斉藤安行氏には原稿に有益なコメントをいただいた。上記の方にお礼を申し上げます。

## 引用文献

- 我孫子市 1995. 我孫子市自然環境調査—鳥類調査報告書—。我孫子市，我孫子。
- 我孫子野鳥を守る会 1994. 手賀沼の鳥—20 年の観察記録—。我孫子野鳥を守る会，我孫子。
- 我孫子野鳥を守る会 2004. 手賀沼の鳥Ⅱ—30 年間の変遷—。我孫子野鳥を守る会，我孫子。
- 我孫子野鳥を守る会 2012. 手賀沼の鳥Ⅲ—食性別生息区分から見た水鳥の変遷—。我孫子野鳥を守る会，我孫子。
- Baker K. 1993. *Identification guide to European Non-passerines*. British Trust for Ornithology, Thetford.
- 千葉県 2011. 千葉県の保護上重要な野生生物 —千葉県レッドデータブック— 動物編 2011 年改訂版。千葉県，千葉。
- del Hoyo, J., Elliot, A. and Sargatal, J. 1992. *Hand-book of the birds of the world, vol 1: Ostrich to Ducks*. Lynx Edicions, Barcelona.
- Howell S.N.G., 2010. *Molt in north American birds*. Houghton Mifflin Harcourt, New York.
- 箕輪義隆 2007. 海鳥識別ハンドブック。文一総合出版，東京。
- 中村登流・中村雅彦 1995 原色 日本野鳥生態図鑑〈水鳥編〉。保育社，大阪。
- 高野伸二 2007. フィールドガイド日本の野鳥 増補改訂版。日本野鳥の会，東京。



図 1 : 手賀沼で観察されたウミウ *Phalacrocorax capillatus* (2013 年 4 月 17 日 小田谷嘉弥撮影). 頭部と上面の特徴がわかる. 左翼からは釣り糸のようなものが伸びている.

Fig. 1 : The Japanese Cormorant *Phalacrocorax capillatus* observed in Teganuma, Abiko city, Chiba Pref., Japan. Showing features of head and upperparts. 17 April 2013. Photo by Y. Odaya.



図 2 : 手賀沼で観察されたウミウ *Phalacrocorax capillatus* (2013 年 4 月 24 日 小田谷嘉弥撮影). 初列風切の換羽状況がわかる.

Fig.2: The Japanese Cormorant *Phalacrocorax capillatus* observed in Teganuma, Abiko city, Chiba Pref., Japan. Showing primary moult. 24 April 2013. Photo by Y. Odaya.



図 3 : 手賀沼で観察されたウミウ *Phalacrocorax capillatus* (右・2013 年 4 月 17 日 小田谷嘉弥撮影). 左のカワウ *P. carbo* との大きさの違いがわかる.

Fig.3: The Japanese Cormorant *Phalacrocorax capillatus* (right) with a Great Cormorant *P. carbo* observed in Teganuma, Abiko city, Chiba Pref., Japan. Showing the difference in their size. 17 April 2013. Photo by Y. Odaya.

The first record of Japanese Cormorant *Phalacrocorax capillatus* for Teganuma.

Yoshiya Odaya

Abiko City Museum of Birds. 234-3 Konoyama, Abiko City, Chiba Prefecture, 270-1145, Japan.

#### Summary

A first-summer plumage of Japanese Cormorant *Phalacrocorax capillatus* was observed in Teganuma, Abiko city, Central Japan. It was found on 17th April and stayed until 4th May in 2013. This report is the first observation record of this species for Teganuma.

Key Words: Japanese Cormorant, *Phalacrocorax capillatus*, Teganuma, First record.